

10/1亀崎小学校放課後ひろば保護者説明会 質疑応答

部	質問	回答
1	今までできてきたことで、学童と放課後ひろばできないこと、または新しくできることはあるか。	学童でやっている習い事の一部や児童センターで行っていたイベントは今まで通りできない。放課後ひろばでは体育館も使える環境であるのと、宿題などもできる環境を想定している。
	イベントが減るが、市としてのフォローはあるのか。	現時点では意見として受け止めさせていただき、地域の方とイベントをできる機会は調整をしているところです。
	放課後ひろばの子どもと学童保育の子どもとの交流はされるか。	体育館等利用の際に一緒にスポーツをするなどは可能性としてはある。積極的に交流させる予定はない。状況に応じて学童保育の子どもたちがひろばに行くことによる交流を想定している。
	利用する際のリストバンドは小学校1、2年生でもできるか。	横川小学校でも実施しているが、小学校1、2年生ともに利用できている。
	今回の児童センターが閉館して放課後ひろば開設することが、どのように市長の言われる子どもたちのメリットになるのか。	イベントに関しては、様子を見ながらやっていくことができるよう調整しているところである。全小学校施設内に放課後ひろばを用意し、全小学校の小学生が安全に放課後すぐに通える放課後ひろばを設置していくことが子どもたちのメリットになると考えている。
2	利用定員はあるか。	定員は設けていない。横川小学校では多くて50人程度利用していた場面があったが、一時的であり、現在は30人程度の利用となっている。
	一度、帰宅してから放課後ひろばを利用してもよいか。	利用可能。1、2年生はその対象となる。
	送迎として車を止める場所はあるか。	送迎用に短時間停めることのできる駐車場を確保する予定である。
	学童はどうなるか。土っ子クラブに通われている子どもはすべて亀崎小学校内に来るのか。	運営事業者としてNPO法人プレマクラブを予定していて、亀崎小学校の児童は基本的に、学校敷地内の学童保育に通ってもらう想定をしている。また、NPO法人プレマクラブからアナウンスがあると思われる。
	学童のスペースや放課後ひろばのスペースがせまくないか。	専用スペースだけで手狭になる場合は、共用スペースを活用してスペースを効率的に活用できる。
	放課後ひろばの子どもと学童保育の子どもとの交流はされるか。	体育館等利用の際に一緒にスポーツをするなどは可能性としてはある。積極的に交流させる予定はない。状況に応じて学童保育の子どもたちがひろばに行くことによる交流を想定している。
	学童のスペースはどれくらいの広さか。	通常教室2つ分より少し広いくらいである。
	学童の部屋が足りないのではないか。	放課後ひろば専用室のほか、多目的室や図書室等共用スペース、体育館を活用していく。使い方や見守りの方法など、今後、事業者と調整をしていく。
	学童スペースの大きさをどう決めたのか。	学童の基準に基づき共用スペースも含めて、最低基準以上の面積で算定している。
	横川小学校でも学童保育は併設しているのか。	併設している。
	横川小学校での学童と放課後ひろばでトラブルはあったか。	現状トラブルはない。うまく区分できている。
	長期休暇の利用について	9時～12時、13時～17時の利用が可能。体育館も活用したい。ただし、土曜日の使用は難しいが、長期休暇平日では使える時間があると想定している。